

問 本村の財政見通しは大丈夫か

答 持続可能な財政運営を行う

問 令和7年度の一般会計の予算規模は前年度比で10・7%増であり、過去最大規模の予算案となった。こうした大型予算となった背景・経緯は。

答 令和7年度当初予算が過去最大規模となった要因としては、人事院勧告の反映、物価高騰に伴う経常経費増のほか、「梓外経費」として「まちづくりの羅針盤」の重点政策パッケージ等の着実な推進に向けて、こども・わかもののライフステージに応じた支援、庁舎窓口・執務エリアの再整備、雨水浸水被

害対策等の施策、また、村発足70周年記念事業および関連事業の実施等によるものである。

問 令和7年度の村税収入がわずかな増加見通しの中、歳出規模が膨らんだことにより、不足分の多くは財政調整基金に頼ることとなる。今後の基金の見込み、本村における基金の在り方はどうか。

答 財政調整基金の残高推計は、



新政とうかい
とびた しずゆき 議員
飛田 静幸



70周年懸垂幕



東海まつり花火大会

令和7年度末で約40億円であり、19億円の減少を見込んでいる。また、本村における基金の適正規模は、一般的には標準財政規模の20%程度と言われている。この計算によると本村は約22億円となる。しかし、歳出額の抑制や国県支出金のさらなる活用、村債による負担額の平準化等を通じて持続可能な財政運営を行ってまいりたい。

問 村発足70周年の事業展開は

答 全16事業を展開していく

問 間もなく村発足70周年を迎えるが、どのような事業展開を予定しているか。

答 7月6日に東海文化センターで記念式典を挙行し、村政にご貢献いただいた方々の表彰を行うほか、前日の7月5日は「前日祭・

前夜祭」として、村ゆかりのアーティストとプロジェクトによるマッピングのコラボによる記念コンサートのほか、記念マルシェを開催する。また、公開テレビ番組の招致や郵便局と連携した記念切手の発行、さらに7000発の花火を打ち上げる東海まつり花火大会やプレミアム付き商品券の発行など全16事業を展開していく。